

【下水道ビジョン】令和4年度第1回刈谷市公営企業経営戦略等策定委員会での主な質問事項

	ページ		内容	回答	意見書
	旧	新			
1	5	5	下水道接続人口の集計方法見直しとは具体的にどのようなことか。	平成30年度以前は、年度ごとの接続工事件数と1世帯当たりの平均人数から推計して、下水道接続人口を積み上げていました。一方、令和元年度以降は、住民基本台帳のデータをGISに反映させることで、家屋ごとの総人口と総世帯数を検索できるようになったため、下水道に接続している家屋を抽出し、集計しています。 集計方法の見直しについて、本文に説明を追加しました。	
2	6	6	汚水管整備だけでなく、雨水管の整備状況や整備予定などを記載してはどうか。	雨水管による浸水対策は概ね完了しており、今後の浸水対策は雨水貯留施設の整備が中心となるため、P11「5）浸水対策」では雨水貯留施設について記載しています。 また、雨水貯留施設の整備計画は、最新のシミュレーションに合わせて見直しを行う予定であるため、下水道ビジョンへの反映は今後検討していきます。	○
3	8	8	雨水ポンプ場の老朽化対策を行うだけでなく、非常時の対策をあらかじめ決めておいた方がいいのではないか。	雨水ポンプ場については、排水ポンプの点検を年1回以上、受電設備や自家発電設備の点検を2ヵ月に1回以上行っており、職員による週1回程度の日常点検によって、排水ポンプが確実に運転するように努めています。なお、排水ポンプが運転する際に故障が発生した場合は、各ポンプ場から自動的に連絡が入る通報応答装置を設置しており、管理会社が速やかに現場へ急行し、対応する体制となっています。 また、災害発生時にはBCP（業務継続計画）に基づいて対応を行います。	○
4	14	14	下水道普及率は平均を大きく上回っているが、下水道接続率はなぜ低いのか。	古くから整備を進めてきた市街化区域に比べて、近年、整備を進めている市街化調整区域の下水道接続率が低い傾向にあります。このことについて、本文に説明を追加しました。	

【下水道ビジョン】令和4年度第1回刈谷市公営企業経営戦略等策定委員会での主な質問事項

	ページ		内容	回答	意見書
	旧	新			
5	14	14	類似団体とはどのような団体か。 (用語集に記載されている用語は、本編で太文字にするなど、分かりやすいように工夫すること。)	P43「用語集」に記載していますが、全国の地方公共団体のうち、人口や人口密度、供用開始後年数が類似する団体を指します。刈谷市は、処理区域内人口10万人以上、人口密度50人/ha以上、供用開始後30年以上の49団体に含まれます。経営戦略に類似団体の一覧を記載しています。 また、用語集に記載されている用語には、※印を付けて分かりやすくしました。それに合わせて、目次の下部に※印の説明を追加しました。	
6	14	14	不明水がどのようなものであるか分かりにくいため、混入した雨水などであることの説明を追加してはどうか。 また、刈谷市は合流管があるため、不明水を完全になくすことが困難であることを記載してはどうか。	P42「用語集」に記載していますが、より分かりやすくなるように「雨水や地下水などの不明水」という表現に修正しました。 また、市中心部が合流式であるため、有収率が低くなっているという説明を追加しました。	○
7	15	15	下水道使用料は、基本使用料や逓増度、基本水量の設定の有無、または基準とする使用水量によって異なるため、本文にも「一般家庭の平均的な1か月当たりの使用量である20㎡当たりの下水道使用料」と記載してはどうか。	ご指摘のとおり、P15「◎経費回収率」の本文に記載しました。	○
8	17	17	アンケートの結果、広報活動への満足度が低い、広報活動自体が不足しているからか、そもそも下水道自体に興味を持ってもらえていないからか、どのように認識しているか。 今後はどのように情報を周知していくのか、何か具体的に検討しているか。	広報活動は行っているものの、下水道は目に付きにくく、認識されにくいと考えています。 まずは、下水道に興味を持ってもらうために、祭りや出前講座などで積極的に情報を発信します。 また、現在実施しているマンホールカードの配布に加え、他にもマンホール蓋を活用したPRなどを検討します。	

【下水道ビジョン】 令和4年度第1回刈谷市公営企業経営戦略等策定委員会での主な質問事項

	ページ		内容	回答	意見書
	旧	新			
9	18	18	<p>有収水量は令和4年から令和9年にかけて大幅に増加するが、なぜ一人当たりの有収水量（減少率）は減少するのか。</p> <p>一人当たりの有収水量（減少率）の定義が記載されていないため、どのように算出されているのか分からない。</p>	<p>令和4年から令和9年の間で、大規模事業場の下水道接続を予定しているため、有収水量は大幅に増加する見込みです。</p> <p>一方、一人当たりの有収水量（減少率）は、水道事業で推計したものから井戸、工業用水での減少分などを除いたもので推計しているため、一人当たりの有収水量（減少率）には大規模事業場の接続分を考慮していません。分かりにくいいため、有収水量の推計のみを記載しました。それに伴い、本文の説明も修正しました。</p>	
10	18	18	<p>節水機器の普及や節水意識の高まりで有収水量が減少する見込みだが、今後もこれまでと同じペースで節水機器の技術革新が続くのか動向を注視し、他に有収水量が減少する要因があるのなら、対策を講じる必要がある。</p>	<p>有収水量の減少は、下水道使用料の減少に直結し、下水道事業の経営に大きな影響を与えることから、いただいた意見を踏まえ、今後の有収水量の動向や減少の要因については引き続き注視を行ってまいります。</p> <p>仮に、想定を上回るペースで有収水量が減少するようなことがあれば、下水道ビジョンの見直しを検討します。</p>	○
11	20	20	<p>浸水対策の推進で、「雨水貯留浸透施設の設置補助制度の拡充や制度の利用促進を図ります。」と記載されているが、雨水貯留浸透施設の設置を促進するのであれば、全額を市で補助することを検討してはどうか。</p>	<p>本制度は、治水への市民参画を呼びかける啓発の制度であり、行政と市民等が共同で取り組む総合治水の一環であります。そのため、設置費の一部を行政が補助するものであります。</p> <p>なお、現在、市民等がより利用しやすい制度となるよう先進事例を調査研究し、見直しに向けた検討を進めています。</p>	
12	23	23	<p>令和14年度の経費回収率の目標は、現状よりも約9%高い90%であるが、これは下水道使用料の改定を想定しているのか。</p>	<p>現在の下水道使用料のままで、大規模事業場の下水道接続などの収入増加や不明水対策などの経費削減による経営改善によって、令和14年度の経費回収率を90%とする目標を達成できると考えています。</p>	
13	23	23	<p>経費回収率の目標値である90%の設定理由を示していないが、独立採算制といいながら90%を目標としているのはどのように判断すればよいのか。</p>	<p>現在の下水道使用料のままで、収入増加や経費削減などの経営改善によって、今後10年間で経費回収率90%を目指し、その効果を見定めたいうえで、次の10年間で最適な下水道使用料の設定などの施策により、さらなる経費回収率の向上を図ってまいります。</p> <p>P23「5 管理指標・目標」に目標設定の考え方を記載しました。</p>	

【下水道ビジョン】令和4年度第1回刈谷市公営企業経営戦略等策定委員会での主な質問事項

	ページ		内容	回答	意見書
	旧	新			
14	23	23	雨水の事業費は一般会計で負担するというものもあるかと思うが、下水道ビジョンが汚水と雨水の両方を対象としているのなら、雨水に関する管理指標と目標を設定した方がいいのではないかと。	本市では、平成27年度に策定した「刈谷市雨水対策マスタープラン」に基づき、10年毎の短期、中期、長期で設定されている河川や下水道、流出抑制施設の整備内容や貯留施設の対策量を管理指標とし、進捗管理を行っています。	○
15	26	26	下水道の処理方式として、分流式と合流式の説明をしているが、刈谷市ではどちらの方式もあるということに記載してはどうか。	ご指摘のとおり、P26「3）下水道の処理方式」の本文に記載しました。	
16	26	26	合流区域では、雨水貯留浸透施設の普及が重要であるので、設置補助金額の増額や雨水タンクの支給を検討してはどうか。 また、雨水タンク設置者の声などを公表することで、市民の意識向上につながるのではないかと。 貯留した雨水は、非常時の生活用水としても役立つので、水量としては少なくとも市民の意識改革につながるため、是非検討してほしい。	現在、市民等がより利用しやすい制度となるよう先進事例を調査研究し、見直しに向けた検討を進めています。 また、引き続き、市民一人一人の水害への防災意識の高揚を図るため、「かりや出前講座」やイベントの開催、市民だより等を通して、積極的な啓発活動を実施していきます。	○
17	32 ～ 34	32 ～ 36	アンケート結果については、分析結果や今後の取り組み、下水道ビジョンに反映した内容などを記載してはどうか。	ご指摘のとおり、P32からP36の「■アンケートの結果」に記載しました。	○
18	34 ～ 36	35 ～ 36	問9の刈谷市の下水道事業のサービスに関する質問は、問8で「ホームページなどで下水道に関する情報を見たことがある」と答えた人のみに聞いているのか。 また、「あまり満足でない」と「全く満足でない」をまとめて「満足でない」としているが、「とても満足」と「満足」の割合よりも多いため、分けて記載してはどうか。	電話・窓口対応についても質問しているため、問8で「見たことがない」と答えた人にも聞いています。しかし、質問の趣旨を考慮して、問8で「見たことがある」と答えた人へのホームページ・市民だよりに関する質問を問9とし、全員を対象とした電話・窓口対応に関する質問を問10としました。 また、問9の「あまり満足でない」と「全く満足でない」は合わせても割合が少ないため、まとめて記載しました。問10の「あまり満足でない」と「全く満足でない」は分けて記載しました。	